平成25年度　Ｂブロック勉強会　アクションプラン

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　平成26年2月13日（木）

◆テーマ（お薬手帳・疑義照会・残薬確認・ジェネリック・一般用医薬品）

お薬手帳

◆個人で考えた問題の定義（なにが問題の本質か）

　　お薬手帳の持参率が悪い、お薬手帳の必要性が伝わっていない、患者さんが忘れることが多い、

お薬手帳の使い方が理解されていない、お薬手帳の説明の仕方が悪い　　　　　が問題

◆班で考えた問題の定義（なにが問題の本質）

　　　　お薬手帳の必要性が理解されていないこと　　　　　　　　　　　　が問題

◆アクションプラン

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| |  |  | | --- | --- | | ３班 | 目標：お薬手帳の有用性を理解してもらう |   　　目標にいたる具体的な解決策   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | いつ  （実施時期） | 明日から | 誰が  （実施主体） | 薬剤師 | | 誰に  （働きかけ先） | 患者様 | | | | どのように  （方法） | お薬手帳のカバーを付けて渡す(保険証が入るポケット付き)  副作用歴やアレルギー歴などを、お薬手帳の記載欄に薬剤師自らが記載し、患者が病院や薬局に行くときに提示するように促す。  薬剤師がお薬手帳の重要性を意識しながら仕事をしている姿勢を示す。 | | | | 備考 |  | | | |

振り返り

ひまわり調剤薬局

お薬手帳を投薬するときに、患者さんと一緒に確認して、アレルギー歴があればその場で記入することを始めました。

はーぶ調剤薬局

意外と患者さんのお薬手帳への意識は高かったことを確認できましたが、持ち歩かず自宅でシールを貼って管理している方も多いので、病院に受診する際必要なので、保険証と一緒に持参するように指導を高めています。

きみ薬局

早速実践しています。調剤報酬改定後もこのままスムーズにいくと良いと思っています。

やまかわ薬局

処方せん受付時にお薬手帳の提示を求め、カバーを配布し、保険証と一緒に入れると便利な旨を伝え利用してもらう。その際、毎回提示を推進する。疑義紹介内容も記入する。アレルギー歴、副作用歴も薬剤師が記入する。毎回お持ちくださいの印を押す。お薬手帳の重要性を書いた紙を配布する。

あいかわ薬局

あと一つ追加するとすれば、患者さんの服薬上の重要事項は、表紙に目立つように記入し病院、他の薬局との情報を共有する。

東合川調剤薬局

2月14日からお薬手帳を意識して投薬時の説明の際に、一緒に使ったり、持参されなかった方に、必要性などの意識は高まってきているが、それが次回の持参につながるかは、まだ手応えがない感じです。やはり一体化ケースなどの対策も考えていくほうが良いように思います。

えだみつ薬局

お薬手帳カバーはアスクルに注文中。保険証と一緒に持参することで持参率を上げていきたい。持参された時は調剤時の役に立ったことを患者に伝えていきたい。

お薬手帳を持参された時は、できるだけ患者の目の前で確認し、投薬説明時も手帳に貼った薬情で説明するようにした。